

1 学習のねらい

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 学習を進めるにあたって

<b>使用教材</b>	国語3(光村図書) 新しい書写(東京書籍) 国語便覧(浜島書店) 漢字練習ノート(東京法令出版) すらすら基本文法(浜島書店) 国語の学習(明治図書)	<b>持ち物</b>	教科書、ノート、ワーク、 月の詩(ファイル)、 他はそのつど連絡				
<b>学習方法</b>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>学校</b></td> <td>                             ・授業開始時に間に合うように準備をし、真剣に授業に取り組もう。                              ・コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加する等、人の意見に耳を傾け、積極的に意見交換し、考えを深めよう。                              ・大きな声で本や月の詩を読もう。また、月の詩は暗誦にもチャレンジしよう。                              ・自分の考えをノートに書く習慣をつけ、工夫したノートを作るよう努力しよう。                              ・授業の振り返りをしっかりしよう。                         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>家庭</b></td> <td>                             ・家庭学習の習慣をつけ、その日の復習をしっかり行おう(教科書を読む、ノートの見直し、自主勉強ノートへのまとめ等)。                              ・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、丁寧に学習しよう。                              ・たくさん本を読み、「読む力」「想像する力」をつけよう。                              ・自主勉強をしよう(発展的な調べ学習、語句の意味調べ等)。                         </td> </tr> </table>			<b>学校</b>	・授業開始時に間に合うように準備をし、真剣に授業に取り組もう。 ・コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加する等、人の意見に耳を傾け、積極的に意見交換し、考えを深めよう。 ・大きな声で本や月の詩を読もう。また、月の詩は暗誦にもチャレンジしよう。 ・自分の考えをノートに書く習慣をつけ、工夫したノートを作るよう努力しよう。 ・授業の振り返りをしっかりしよう。	<b>家庭</b>	・家庭学習の習慣をつけ、その日の復習をしっかり行おう(教科書を読む、ノートの見直し、自主勉強ノートへのまとめ等)。 ・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、丁寧に学習しよう。 ・たくさん本を読み、「読む力」「想像する力」をつけよう。 ・自主勉強をしよう(発展的な調べ学習、語句の意味調べ等)。
<b>学校</b>	・授業開始時に間に合うように準備をし、真剣に授業に取り組もう。 ・コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加する等、人の意見に耳を傾け、積極的に意見交換し、考えを深めよう。 ・大きな声で本や月の詩を読もう。また、月の詩は暗誦にもチャレンジしよう。 ・自分の考えをノートに書く習慣をつけ、工夫したノートを作るよう努力しよう。 ・授業の振り返りをしっかりしよう。						
<b>家庭</b>	・家庭学習の習慣をつけ、その日の復習をしっかり行おう(教科書を読む、ノートの見直し、自主勉強ノートへのまとめ等)。 ・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、丁寧に学習しよう。 ・たくさん本を読み、「読む力」「想像する力」をつけよう。 ・自主勉強をしよう(発展的な調べ学習、語句の意味調べ等)。						

3 評価について

評価観点	評価の場面・方法
<b>①国語への関心・意欲・態度</b> 意欲的に国語学習に参加することができる。 提出物を自分の学力向上に役立てることができる。 授業の振り返りを通して、自分の課題を見つけ、次の学習に活かそうとすることができる。	授業態度 課題の提出状況 発言意欲 自主学習ノート ノートの内容 月の詩の暗唱 ベーシック(漢字) 学びのパスポート
<b>②話す・聞く力</b> 自分の考えをまとめて話したり、相手を理解しながら聞いたりすることができる。	音読・スピーチ 授業中の様子 発表(内容の充実) 聞き取りテスト
<b>③書く能力</b> 授業を通して気づいたこと、考えたことを的確に、わかりやすくまとめることができる。 適切な資料を集め、明確に文章にまとめることができる。	定期テスト 作文等 ノート(内容の充実) 学びのパスポート
<b>④読む能力</b> 文章の筋道をとらえながら正確に読み、内容を理解することができる。	定期テスト 発表(内容の充実) ノート(内容の充実)
<b>⑤言語についての知識・理解・技能</b> 言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。	定期テスト 書写作品 ノート等の提出物 漢字テスト

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走れメロス(昨年度未履修分)</li> <li>・春に</li> <li>・握手</li>   <li>・学びて時にこれを習ふ</li> <li>・熟語の読み方</li> <li>・月の起源を探る</li> <li>・和語・漢語・外来語</li> <li>・俳句の可能性(俳句を味わう)</li> <li>・文法への扉1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の状況と、人物の心情の変化を読み取れる。</li> <li>・作者の思いを捉え、表現の特徴を生かしながら読める。</li> <li>・登場人物の生き方や考え方、作品の構成などに関心をもつて読める。</li> <li>・自分の生活に生かすことのできる「論語」を見つけられる。</li> <li>・熟語の構成や読み方の原則を理解できる。</li> <li>・科学的なものの見方や研究方法に興味をもって読める。</li> <li>・豊かな言語感覚を磨こうとすることができる。</li> <li>・想像を働かせながら、俳句を読み味わうことができる。</li> <li>・文法の知識を文章表現に生かそうとすることができる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶 - 原爆の写真によせて -</li>   <li>・故郷</li>   <li>・慣用句・ことわざ・故事成語</li> <li>・漢字の造語力</li> <li>・古今和歌集 仮名序</li> <li>・君待つと - 万葉・古今・新古今 -</li>   <li>・夏草 - 『おくのほそ道』から -</li> <li>・作られた「物語」を超えて</li> <li>・文法への扉2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の思いを捉え、人間や社会について自分の考えを深められる。</li> <li>・作品の内容や表現から読み取ったことを踏まえ、人間と社会について関心をもてる。</li> <li>・豊かな言語感覚を習得できる。</li> <li>・漢字の造語力の巧みさや豊かさを理解できる。</li> <li>・古典のリズムを楽しみ、興味や関心をもてる。</li> <li>・古典の世界に進んで向かうことができる。</li> <li>・心に響いた作品の鑑賞文を書ける。</li> <li>・作品のテーマや、古典表現を理解できる。</li> <li>・論理の展開に着目して、筆者の主張を捉えられる。</li> <li>・既習の文法の知識や考え方を整理できる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写</li> <li>・誰かの代わりに</li> <li>・三年間の歩みを振り返ろう</li>   <li>・漢字のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本に習って、形やバランスを整えて書ける。</li> <li>・筆者の考え方を捉え、自分の生き方について考えられる。</li> <li>・今までの学習を振り返り、物の見方や考え方を深められる。</li> <li>・中学校での漢字学習の総まとめとして、これまで学んできた漢字についての問題を振り返り、確認できる。</li> </ul>

1 学習のねらい

【歴史的分野】

- ・近代から現代の日本の歴史の流れを理解しつつ、日本の文化や伝統を理解する。
- ・近代から現代にかけての日本の歴史と、当時の諸外国の歴史やその関連を理解する。

【公民的分野】

- ・民主主義を理解し、国民主権を担う公民としての知識や見方・考え方を身につける。
- ・現代の諸問題に着目し、よりよい社会にするために必要な考え方を身につける。

【共通】

- ・調べ学習や調査などで、資料を適切に選択して活用する能力を身につける。
- ・授業に積極的に参加し、課題を主体的に追究し、周りの意見を容れながら自分の意見をまとめ、教材や他者と対話する力を高める。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書：新編 新しい社会「歴史」(東京書籍) 中学社会 公民的分野(日本文教出版) 中学校社会科地図 初訂版(帝国書院) 補助教材：資料集、ワーク	持ち物	教科書、ノート、 地図帳、資料集、 ファイル 他はその都度連絡
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備素早くし、服装・身なりを整え、早めに着席しておこう。</li> <li>・小グループの活動や学級全体での話し合い活動に積極的に取り組み、人の意見をよく聴き、その意見をふまえた発言を行い、話し合いを深めよう。</li> <li>・分かったこと、理解したこと、資料や既習事実、経験などの根拠をもとに学習課題に対する自己の考えを積極的に発言しよう。</li> <li>・集中して学習に取り組み、仲間の発言に対して簡単に納得をせず、疑問が解消するまでどんどん質問をしよう。</li> <li>・提出物は期限を守って提出しよう。忘れ物をしないようにしよう。</li> </ul>	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ごとに、授業ノートを中心に、新しく学習した内容をまとめたり、語句や用語などの意味を調べたりしてノートのスペースに復習しよう。また、授業の学習内容に関連することや疑問に思ったことなどを、教科書や資料集、自分でさがした文献資料・データ資料、新聞記事やインターネットなどで調べ、その追究を深めよう。</li> <li>・テストで間違った用語や内容についてもよく復習しておこう。</li> <li>・単元が済んだら、その単元のワークの問題をやっていこう。</li> <li>・ニュースや社会科、歴史・公民に関するテレビを見るように心がけよう。</li> <li>・毎朝、新聞を読むように心がけよう。</li> </ul>	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な事象に対する興味関心を深め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え責任を果たそうとする。	ノート等への自主的な復習や追究 学習活動への主体的な参加や態度 課題や提出物への取り組み内容 学びのパスポートでの自己の学習を調整する態度
②社会的な思考・判断・表現	社会的な事象から問題を見出し、社会的な事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し、根拠を踏まえ公正に判断するとともに、その追究や考察した過程や結果を適切に表現する。	単元レポート 振り返りシート 思考・判断を必要とする発言 ノートやワークシートにおける考えや感想 調べたことや追究したことを表現する課題 定期テスト
③資料活用の技能	グラフや資料から、社会的な事象の全体との比較や相互の関連性について、正しく理解しグラフや資料の表現する内容を読み取り、有用な情報を適切に選択して活用する。	資料・史料・グラフ・絵・写真・表のよみとり、 資料を活用する課題 定期テスト
④社会的な事象についての知識・理解	社会的な事象に関する基礎的な内容について、それらを理解しわかりやすく説明することができる。	小テストや定期テスト

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	<p>歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 第2節 明治維新</p> <p>第3節 日清・日露戦争と近代産業</p> <p>歴史 第6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>歴史 第7章 現代の日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新政府の諸改革や諸政策，文明開化を通して，人々の生活の大きな変化を多面的・多角的に考察し，当時の課題をみだし公正に判断することができる。</li> <li>・日清・日露戦争，条約改正について多面的・多角的に考察し，それらによって起こりうる課題を見つけ，公正に判断するとともに，近代化を進めた我が国の国際的地位の向上と大陸との関係のあらましに対する関心を高め，意欲的に追究することができる。</li> <li>・二度の世界大戦のころの我が国の動きと世界の動きのあらましを理解し，当時の日本がかかえる課題をみだし公正に判断することができる。また，当時の頃の日本の政治・経済・社会や国民の動きについて理解することができる。</li> <li>・終戦から現在に至るまでのできごとの概要について，世界の動きと関連させて理解するとともに，我が国の民主化と再建の過程や国際社会への参加など節目となる歴史的事象を通して，政治・社会の動きとその特色を多面的・多角的に考察し，公正に判断することができる。</li> </ul>
2	<p>公民 第1編 私たちと現代社会</p> <p>公民 第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法</p> <p>第2章 国民主権と日本の政治</p> <p>公民 第3編 私たちの生活と経済 第1章 消費生活と経済のしくみ</p> <p>第2章 生産の場としての企業</p> <p>第3章 金融のしくみとお金の価値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間は社会的な存在であり，よりよい社会生活を営んでいくためにはきまりや取り決めが必要であることを理解するとともにし，現代社会に関する様々な資料から諸課題を見だし，その諸課題を解決しようと，多面的・多角的に考察し，公正に判断することができる。</li> <li>・憲法に基づく政治が成立するまでの歴史，日本国憲法の三大原則について意欲的に追究することができる。基本的な人権について，様々な権利の学習から，個人の権利の裏にある責任や，他者の人権を大切に，差別を絶対に許さない態度を身に付けることができる。</li> <li>・民主政治の基本的な考え方と，その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みに対する関心を持つことができる。民主的な社会生活の在り方について，自由・権利と責任・義務の関係を踏まえ公正に判断することができる。</li> <li>・個人や企業の経済活動に対する関心を高め，それを意欲的に追究し理解するとともに，経済活動について諸課題を解決しようと，多面的・多角的に考察することができる。</li> <li>・社会における企業の役割と社会責任，社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について理解し，個人や企業の経済活動のあり方について様々な立場から公正に判断することができる。</li> <li>・日銀の金融政策や外国為替について理解し，お金の流れと景気や身近な生活との関係性を見だし，金融に関する今日的課題を解決しようと，多面的・多角的に考察することができる。</li> </ul>
3	<p>第4章 財政と国民の福祉</p> <p>公民 第4編 私たちと国際社会</p> <p>公民 第5編 私たちの課題 持続可能な社会をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の社会保障制度や年金制度を理解し，今後起こりうる社会保障に関する課題を見いだすことができる。また，その諸課題を解決しようとする態度を身に付けるとともに，財政や租税などの面から考察し，公正に判断することができる。</li> <li>・国際平和の実現，国際連合のはたらき，軍縮，地球環境，エネルギー問題について理解するとともに，それらの課題を考えていこうとする態度を身に付けることができる。</li> <li>・国際社会の諸問題から世界平和にかかわる問題や，地球環境，資源，エネルギー問題などを理解し，それに関わる課題を見いだすことができる。また，その諸課題を解決しようと，多面的・多角的に考察し，公正に判断することができる。</li> </ul>

※国内の政治や経済の動き，世界情勢の変化によって，教材の順序が入れかわることがあります。

## 1 学習のねらい

基礎的・基本的な知識及び技能を修得し、それらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくみ、数学の学習に主体的に取り組む態度を養います。

- ・数学的活動の楽しみ、数学のよさを活用することができるようにします。
- ・事象を数理的に考察し、表現する能力を高めます。
- ・既習事項を活用して、考えたり判断したりしようとする態度を育てます。

## 2 学習を進めるにあたって

使用教材	未来へひろがる数学3(啓林館) 完成問題集(三泗数学研究協議会) 数学のベーシックマスター(新学社)	持ち物	教科書、ノート、 ファイル、完成問題集 ベーシックマスター
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始時には、授業の準備をして着席しよう。</li> <li>・授業中は、先生や友達の話を中心して聴こう。</li> <li>・授業中、発言や質問を行うなどして、積極的に参加をしよう。</li> <li>・話のポイント、自分で気づいたことなどをノート等書き留めておこう。</li> <li>・提出物は提出日の期限を守ろう。</li> </ul>	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学習したところは、その日のうちに復習をしよう。</li> <li>・提出物は計画的に進めていこう。</li> </ul>	

## 3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
① 数学への関心・意欲・態度	課題への取り掛かりが早く、意欲的に取り組もうとする。 繰り返し問題を解き、確実に習得しようとする。 宿題や提出物を丁寧に取り組むことができる。 自分の課題を見つけ、やり遂げようとする。	授業中の発言 ノート等への記述内容 提出物 ベーシック(計算) 学びのパスポート、等
② 数学的な見方や考え方	すでに学んだことをもとにして、新しい性質や考え方を自ら発見できる。 自分の考えを筋道をたてて説明することができる。	授業中の発言 ノート等への記述内容 定期テスト・実力テスト、等
③ 数学的な技能	計算を迅速かつ正確にすることができる。 グラフをかいたり、式を求めたりすることができる。 数学的用語を用いて正しく記述することができる。	授業中の発言 ノート等への記述内容 定期テスト・実力テスト、等
④ 数量や図形などについての知識・理解	用語や定理の意味や仕組みを理解している。	授業中の発言 ノート等への記述内容 定期テスト・実力テスト、等

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	<p>2年時未履修分(平行四辺形になる条件～平行線と面積)</p> <p>1章 式の展開と因数分解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式の展開と因数分解</li> <li>・式の計算の利用</li> </ul> <p>2章 平方根</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根</li> <li>・根号をふくむ式の計算</li> <li>・平方根の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平行四辺形になる条件を使って図形の性質を証明することができる。</li> <li>・長方形, ひし形, 正方形と平行四辺形の関係, 平行線による等式変形などについて理解できる。</li> <li>・文字を用いた簡単な多項式について, 式の展開や因数分解ができる。</li> <li>・目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりすることができる。</li> <li>・数の平方根について理解し, 数の概念の理解をいっそう深めることができる。</li> <li>・数を用いてもものごとを広く, 深く, 考察・処理することができる。</li> </ul>
2	<p>3章 二次方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式</li> <li>・二次方程式の利用</li> </ul> <p>4章 関数 <math>y = ax^2</math></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関数とグラフ</li> <li>・関数 <math>y = ax^2</math> の値の変化</li> <li>・いろいろな事象と関数</li> </ul> <p>5章 図形と相似</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形と相似</li> <li>・平行線と線分の比</li> <li>・相似な図形の計量</li> <li>・相似の利用</li> </ul> <p>6章 円の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角と中心角</li> <li>・円の性質の利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式やその解法について理解し, 二次方程式を解くことができる。</li> <li>・二次方程式を用いて実際の問題を解決したり, 考察することができる。</li> <li>・具体的な事象の中から2つの数量を取り出し, 表, グラフ, 式を使ってそれらの変化や対応のようすを調べることを通して, <math>y = ax^2</math> について理解することができる。</li> <li>・具体的な事象の中から, 関数関係を見いだし, 表現し, 考察することができる。</li> <li>・図形の相似の概念を明らかにし, 三角形の相似条件などをもとにして図形の性質を確かめ, 論理的に考察し表現できる。</li> <li>・相似の考えが活用できる。</li> <li>・観察, 操作や実験などの活動を通して, 円周角と中心角の関係を見いだして理解し, それを用いて論理的に考察し表現できる</li> </ul>
	<p>7章 三平方の定理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理</li> <li>・三平方の定理の利用</li> </ul> <p>8章 標本調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察, 操作や実験などの活動を通して, 三平方の定理を見いだして理解し, それを用いて考察したり, 活用したりできる。</li> <li>・コンピュータを用いたりするなどして母集団から標本を取り出し, 標本の傾向を調べることで, 母集団の傾向が読み取れることが理解でき, その考えを活用できる。</li> </ul>

## 1 学習のねらい

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書「未来へひろがるサイエンス3」 資料集、プリント、ワークブック	持ち物	教科書、ノート、資料集、のり
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。</li> <li>・授業に集中しよう。</li> <li>・板書は手早く写し、重要箇所は強調しよう。</li> <li>・問題はまず自分で考え、わからなければたずねよう。</li> </ul>	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートを見直そう。またはまとめ直そう。</li> <li>・ワークブックの基本問題をやってみて習得すべき事柄や、定着していない内容をはっきりさせよう。→ 学習した後、再度問題をやってみよう。</li> </ul>	

## 3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①関心・意欲・態度	授業に積極的に参加しているか。 提出物を自分の学力向上に役立っているか。 自然科学に興味があるか。	授業態度 持ち物の状況 提出物 振りかえり感想 ノート・プリントの提出状況・内容 定期テスト 学びのパスポート
②科学的思考	物事を筋道立てて考え、それを表現することができるか。	発言内容 実験観察レポート プリント内容 振りかえり感想 定期テスト 学びのパスポート
③実験観察の技能表現	事象を、ポイントを外さずに観察できるか。 実験器具を正しく安全に使用できるか。 レポートをきちんと書けるか。	実験中の態度、器具の扱い方 実験観察レポート 定期テスト
④知識理解	自然のきまりを理解しているか。 重要語句の意味を正しく理解しているか。	定期テスト 小テスト

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	<p>[地球]地球の大気と天気の変化(昨年度未履修)</p> <p>1章 空気中の水の変化</p> <p>2章 天気の変化と大気の動き</p> <p>3章 大気の動きと日本の四季</p> <p>[生命]生命の連続性</p> <p>1章 生物の成長とふえ方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象に関する観察・実験や気象観測、天気図や雲画像を活用した分析・解釈などを通して、天気変化のしくみと規則性を説明できる。</li> <li>・気象の変化と人間生活との関わりに関心を持ち、地球の環境保全について考えることができる。</li> <li>・生物の成長や生殖を細胞のレベルで捉えさせ、親から子へ形質が伝わることによって、生命の連続性が保たれている事を理解するとともに、生命を尊重する態度をとることができる。</li> </ul>
2	<p>2章 遺伝の規則性と遺伝子</p> <p>[物質]化学変化とイオン</p> <p>1章 水溶液とイオン</p> <p>2章 酸・アルカリと塩</p> <p>[エネルギー]運動とエネルギー</p> <p>1章 力のつり合い</p> <p>2章 物体の運動</p> <p>3章 仕事とエネルギー</p> <p>4章 多様なエネルギーとその移り変わり</p> <p>5章 エネルギー資源とその利用</p> <p>[地球]宇宙の中の地球</p> <p>1章 地球とその外側の世界</p> <p>2章 太陽と恒星の動き</p> <p>3章 月と金星の動きと見え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水溶液の電気伝導性や電気分解の実験を行い、その実験結果から、イオンの概念を説明できる。</li> <li>・電池、酸・アルカリの性質や中和の実験の結果をイオンのモデルと結び付けて考えることができる。</li> <li>・日常生活との関連をはかりながら、物体にはたらく力と運動の間の規則性について説明できる。</li> <li>・エネルギーにはいろいろな種類があり、それらが移り変わってもその総量が保存されることを説明できる。</li> <li>・エネルギー資源の利用方法を知り、自分の生活と照らし合わせて、効率の良いエネルギー利用を考えることができる。</li> <li>・太陽系の天体や恒星について興味を持ち、天体の日周運動、年周運動、季節の変化を説明できる。</li> <li>・地球がほかの天体と比べ生物にとってかけがえのないものであることを理解し、地球環境を保全しようとする態度をとることができる。</li> <li>・太陽系以外の宇宙について興味を持ち、説明できる。</li> </ul>
3	<p>[環境]自然と人間</p> <p>1章 自然界のつり合い</p> <p>2章 人間と環境</p> <p>3章 自然が人間の生活におよぼす影響</p> <p>4章 科学技術と人間</p> <p>5章 科学技術の利用と環境保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係やつり合いについて理解できるとともに、自然と人間とのかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断できる。</li> <li>・現在の地球の環境が人間にとってかけがえのないものであることを理解し、地球環境を保全しようとする態度をとることができる。</li> </ul>

1 学習のねらい

表現活動

- ・仲間と歌う喜びをわかち合い、音楽学習への意欲・態度を育てる。
- ・今まで学習したことを生かし、豊かな表現ができるようになる。
- ・学校行事への参加などを通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。

鑑賞活動

- ・「音楽を形づくっている要素」や「構造」を感じ取って、曲を感じ取って聴く能力を身につける。
- ・日本の伝統音楽に興味を持ち、親しむ心情を育てる。
- ・「音楽を形づくっている要素」や「構造」をもとに自分が感じたことを口頭や文章で表現できるようになる。

2 学習を進めるにあたって

<b>使用教材</b>	教科書:中学生の音楽2・3上、下(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社) 補助教材:合唱曲集「MY SONG」(教育芸術社)	<b>持ち物</b>	・教科書、音楽のハーモニー ・MY SONG ・ファイル・筆箱
<b>学習方法</b>	<p style="text-align: center;"><b>学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。</li> <li>・音楽は授業が勝負です。忘れ物に気をつけ、学習課題をしっかりとらえ、素直な気持で積極的に授業に参加しよう。</li> <li>・男子は変声期で音域が狭くなるなど、思うように歌えない時期になります。自分の出しやすい音域で無理のない自然な発声を心がけよう。周りの人も温かく見守ってあげよう。</li> <li>・歌唱時には、失敗をおそれず恥ずかしながら、いつもたっぷりとした声を出して一生懸命演奏しよう。間違いから発見し、わかり、上手になります。</li> <li>・合唱や楽器は楽譜(歌詞や演奏上の記号等)を覚えて演奏できるようになろう。</li> <li>・学校行事への参加などを通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てよう。</li> <li>・自分で気づいた点や先生の説明・アドバイスなどは楽譜にメモしよう。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>家庭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を見直して、歌詞やメロディーが早く覚えられるように練習しよう。</li> <li>・音楽のきまり(音符・休符・記号など)は家できちんと復習して覚えよう。</li> <li>・口の開け方や、呼吸の方法などは鏡を見て研究しよう。</li> <li>・鑑賞教材などは教科書とプリントをよく読んで復習しよう。</li> </ul>		

3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
① 音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の表現について感心を持ち、意欲的に技能を修得したり、表現を工夫したりしよとすることができる</li> <li>・音楽に関心を持ち、その仕組みや美しさを感じ取ろうとすることができる。</li> <li>・パート練習やグループ活動に積極的に参加できる。</li> </ul>	学習活動への参加の仕方 や態度、聴く姿勢 準備物 提出物 定期テスト 学習プリント 楽譜記入

②音楽表現の 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽をより美しいものにしようとして、歌詞と「音楽を形づくっている要素(曲にふさわしい歌声や音色、リズム、メロディー、強弱など)や曲の構造などイメージをふくらませ表現することができる。</li> </ul>	授業での演奏活動の様子 学習プリント 実技テスト 定期テスト
③音楽表現の 技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のびのびと表現活動ができる。</li> <li>・呼吸や共鳴に気をつけて響きのある歌声で歌うことができる。</li> <li>・歌詞の内容や演奏上の記号などを生かして演奏できる。</li> </ul>	授業での演奏活動の様子 実技テスト(姿勢、口の開き方、声の大きさ、音程)
④鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱や・仲間の演奏や発表を静かに、熱心に聴くことができる。</li> <li>・さまざまな音楽を静かに集中して聴くことができる。</li> <li>・作曲者のことや、曲ができた背景を理解した上で鑑賞し、曲から様々なことを感じ取ることができる。</li> <li>・音楽を形づくっている要素(音色・強弱・速度・リズムなど)に基づいて聴き、自分が感じ取ったことを記述できる。</li> </ul>	授業に取り組む姿勢 鑑賞の記録プリント 定期テスト(鑑賞について)

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	主な指導目標
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の歌」(昨年度未履修)</li> <li>・「花」</li> <li>・「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」</li> <li>・鑑賞「ブルタバ」</li> <li>・鑑賞「展覧会の絵」</li> <li>・合唱の練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉と旋律の関係を理解して、歌詞の表す情景や心情を感じ取って歌う。</li> <li>・歌詞の美しさや特徴に関心を持ち、イメージをもって意欲的に歌う。</li> <li>・曲想を感じ取り、響きのある声で合唱する。</li> <li>・各パートの役割をいかしながら合唱する。</li> <li>・歌詞を理解したうえで、曲にふさわしい表現を工夫する。</li> <li>・オーケストラの響きや曲奏の変化に関心を持つ。</li> <li>・表題を手がかりとして、情景をイメージしながら聴き取る。</li> <li>・作曲された時代の歴史背景を知り、音楽が多様な要因とかがわって生まれるということを理解する。</li> <li>・旋律や音色の特徴を感じ取り、絵画や展覧会の様子を想像しながら聴く。</li> <li>・積極的にみんなで協力して練習に取り組む。</li> <li>・自分のパートの音を正しく歌う。</li> <li>・曲の歌詞をよく理解し、イメージ画と歌詞研究をする。(夏休みの課題)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱の練習</li> <li>・鑑賞「越天楽」</li> <li>・鑑賞 能「羽衣」</li> <li>・「早春賦」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のパートの音を正しく、豊かな響きのある声で歌う。</li> <li>・パートの役割と全体の響きに気をつけて歌うことで、混声合唱のハーモニーの美しさを感じる。</li> <li>・歌詞の内容を理解し、曲のイメージを深め具体的に合唱表現にいかす。</li> <li>・日本古来の儀式音楽に興味を持つ。</li> <li>・伝統音楽の特徴や歴史・楽器の音色に関心を持ち、聴き取る。</li> <li>・伝統音楽の特徴や歴史に関心を持ち、日本の文化として捉える。</li> <li>・伝統音楽の特徴である発声や楽器の音色、間などを感じる。</li> <li>・太夫、人形、三味線の特徴やそれぞれの役割を理解したうえで、文楽を鑑賞する。</li> <li>・豊かな響きのある声で気持ちを込めて歌う。</li> <li>・歌詞の美しさや特徴に関心を持ち、イメージをもって意欲的に歌う</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式の歌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の自分の思いを込めて合唱に取り組む。</li> <li>・曲想を感じ取って表現を工夫し歌唱にいかす。</li> </ul>

1 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 学習を進めるにあたって

<b>使用教材</b>	教科書:『美術1』(日本文教出版) 『美術2・3上』(日本文教出版) 『美術2・3下』(日本文教出版) 補助教材:『美術資料』(秀学社)	<b>持ち物</b>	教科書、資料集、鉛筆(B, 2Bなど)、色鉛筆、絵の具セット等
<b>学習方法</b>	<b>学校</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループでの鑑賞活動に積極的に参加し、考えを深めよう。</li> <li>・美術は忘れ物をしないことが特に重要です。忘れ物をなくそう。</li> <li>・道具の準備を済ませて着席するベル席に努めよう。</li> <li>・私語をなくし、集中して、根気強く作品作りに取り組もう。</li> </ul>	
	<b>家庭</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデアを考える時間は授業時間だけでは不足です。家庭でしっかりと考え、準備しよう。</li> <li>・美術館や図書館に行き、造形作品や作品集などにふれ感性を豊かにしよう。</li> </ul>	

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
<b>①関心・意欲・態度</b>	授業に積極的に参加しているか。 提出物の期限を守っているか。 美術に興味があり、創造する意欲があるか。	授業態度・持ち物の状況 提出物の状況・内容 定期テスト
<b>②発想や構想の能力</b>	課題をもとに感性や想像力をはたらかせて、独創的な発想ができるか。 対象やものごとを深くみつめ、創造的な構想ができるか。	アイデアスケッチ 制作過程 完成作品 定期テスト
<b>③創造的な技能</b>	制作する材料や道具を生かし、イメージしたものを表現できるか。 自分のイメージに合う表現方法を創意工夫し表現できるか。	制作過程の中での材料や用具の使用の様子 完成作品 定期テスト
<b>④鑑賞の能力</b>	自然や美術作品のよさや美しさを感じとり、味わうことができるか。 ともだちの作品を理解し、よさや美しさを感じとり味わうことができるか。 自分の制作を振り返り、客観的に自己の作品や制作態度を評価することができるか。	鑑賞レポート 作品の感想 定期テスト

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーウェイト製作</li> <li>封入作品制作</li> <li>レジン封入</li> <li>研磨加工</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAPAN というテーマを元にイメージを広げ、封入する作品を制作する。</li> <li>・心をこめて制作することができる。</li> <li>・樹脂の取り扱い、研磨ができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の芸術家の作品を鑑賞し、作者の心情や表現のよさ、美しさを感じとることができる。</li> </ul>
2 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点描画(自画像)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点描画の基礎を身につけることができる。</li> <li>・単色の明暗表現をうまくできるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の心情を理解し、作品のよさや美しさを感じ取ることができる。</li> </ul>
3 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵馬(木彫)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵馬とは何かを知り、将来の夢や願い事をデザインできる。</li> <li>・彫刻刀の正しい使い方やさまざまな彫り方を身につけることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品を理解し、心情をくみ取り、よさや美しさを感じ取ることができる。</li> </ul>

1 学習のねらい

○心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

【体育分野】

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動する態度を育てる。

【保健分野】

個人生活にける健康・安全に関する理解を通して、自らの健康を適切に管理し、改善していく能力を育てる。

2 学習を進めるにあたって

<b>使用教材</b>	教科書：新中学の保健体育(学研) 補助教材：ワンダフルスポーツ(新学社)	<b>準備物等</b>	半袖体操服、ハーフパンツ、 長ジャージ、体育館シューズ ワンダフルスポーツ、筆記用具、ファイル等
<b>学習方法</b>	<b>学校</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体の調子を整え積極的に授業に参加しよう。</li> <li>・体操服や、シューズ、教科書など忘れ物をしないよう授業の準備をしっかりしよう。</li> <li>・授業の指示を聞くために集中して話を聞こう。</li> <li>・仲間と楽しく学び合い、運動できるようコミュニケーションをはかろう。</li> <li>・あいさつや準備体操の号令は大きな声でしよう。</li> <li>・いろいろなスポーツに取り組んで体力をつけよう。</li> </ul>	
	<b>家庭</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早寝、早起き、朝ごはんを目標に十分な休養、バランスの取れた食事に気をつけよう。</li> <li>・自分の健康と家族の健康に関心を持ち、規則正しい生活が送れるようにしよう。</li> <li>・家の周りを走ったり、縄跳びをしたり柔軟体操をして家でもからだを動かすよう心がけよう。</li> <li>・いろいろなスポーツに関心を持ちテレビや本や新聞、テレビなどから情報を得よう。</li> </ul>	

3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
<b>① 運動への関心・意欲・態度</b>	公正、協力、責任などの態度を身につけ、健康・安全に留意し、運動の楽しさに触れ、全力で運動しようとしている。また、自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方、態度、見学など</li> <li>・振り返りシート</li> <li>・ファイル</li> </ul>
<b>② 運動についての思考・判断</b>	運動の特性に応じて自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート</li> <li>・小テスト</li> <li>・ファイル</li> </ul>
<b>③ 運動の技能</b>	運動の課題や行い方や戦術を基に運動を行うことができ運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の活動の様子</li> <li>・実技テスト</li> </ul>
<b>④ 運動や健康・安全についての知識理解</b>	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、体力測定の方法と結果の活用、運動の練習の原則および生活における運動の取り入れ方や意義に関する基礎的な知識を理解し、身につけ生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・プリント</li> </ul>

学期	単元計画	観点別評価の具体例
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・集団行動</li> <li>・体づくり運動</li> <li>・ラジオ体操</li> <li>・新体力テスト</li> <li>・ハードル走</li> <li>・バレーボール</li> </ul> <p>〈保健〉 「健康と環境」 (昨年度未履修の内容)</p> <p>「健康な生活と病気の予防」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要な用具を準備し、授業に対し、真面目な態度で受けている。</li> <li>①授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。</li> <li>②運動に興味・関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。</li> <li>②ラジオ体操の順番を覚えて、どこの運動をしているのか意識しながら体操することができる。</li> <li>②③自分の体力を把握し昨年度よりも体力の向上を目指し、測定することができる。</li> <li>②③ハードルをスムーズに越えられる姿勢、インターバルのリズムのとり方を考えて練習することができる。</li> <li>③個人技能を高めボールをつなげていくことができる。ルールを理解してゲームや審判ができる。</li> <li>④自分や家族の健康、体について考えることができる。 (運動と健康、食生活と健康、生活習慣病)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短距離走・リレー</li> <li>・ソフトボール</li> <li>・跳び箱運動</li> <li>・持久走</li> </ul> <p>〈保健〉 「健康な生活と病気の予防」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要な用具を準備し、授業に対し、真面目な態度で受けている。</li> <li>①授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。</li> <li>②運動に興味・関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。</li> <li>②自己の能力に適した技に挑み、課題を解決できる</li> <li>③テイクオーバーゾーンの使い方やスピードを落とさずにバトンパスができる。</li> <li>③キャッチボール、バッティングの基本的な技術を身につける。</li> <li>②③目標を立て、自己の限界に挑戦し走りきることができる。</li> <li>④生活習慣病について理解し考えることができる。 (喫煙、飲酒、薬物乱用)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール</li> <li>・サッカー</li> <li>・バドミントン</li> <li>・卓球</li> </ul> <p>〈保健〉 「健康な生活と病気の予防」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要な用具を準備し、授業に対し、真面目な態度で受けている。</li> <li>①授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。</li> <li>②運動に興味関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。</li> <li>③いろいろな場面を考えてパス回しや攻撃ができる。ルールを理解しゲームや審判ができる。</li> <li>③ラケットやシャトル・ピンポン玉の操作に慣れ、ラリーを続ける。</li> <li>④性感染症やエイズについて理解し考えることができる。</li> </ul>

## 1 学習のねらい

ものづくりなどを実際に行ったり、考えたりする中で、身の回りの生活に必要な基礎的な知識と技術を身につけよう。その中で、生活と技術とのかかわりについて理解を深め進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を身につけよう。

## 2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:技術・家庭 技術分野(東京書籍) 補助教材:新技術・家庭総合資料(正進社)	持ち物	教科書、ファイル、 資料集 作業時:体操服
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。</li> <li>・授業中は先生の話を中心して聴き、指示通り安全に作業をしよう。</li> <li>・まずは自分で考え工夫し、分からないことがあったら、友達や先生にたずねよう。</li> <li>・配付プリントや定期テストはきちんとファイルに綴じよう。</li> </ul>	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで間違えた問題は復習しておこう。</li> <li>・生活の中での技術について興味を持とう。</li> <li>・家でも、学んだことを生かしていこう</li> </ul>	

## 3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
①生活や技術への 関心・意欲・態度	生活や技術について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	学習活動への参加の仕方や態度 プリントの作成状況 定期テスト
②生活を工夫し創造する能力	生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し、想像する。	授業での発言や取り組み内容 課題作品の様子 プリントの作成状況 定期テスト
③生活の技能	生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	課題作品の様子や製作工程 プリントの作成状況 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	授業での発言や取り組み内容 プリントの作成状況 定期テスト

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	生物育成に関する技術 ・生物を育てる技術の特徴 ・生物を育てるための計画と管理 ・生物育成に関する評価・活用  情報に関する技術 ・コンピュータと情報通信ネットワーク ・デジタル作品の設計・製作	・生物を育てる基本的な技術について説明できる。 ・作物の栽培を通して、種類や生育過程、環境条件について理解できる。 ・作物の栽培では、育てながら観察し、レポートにまとめることができる。  ・表計算ソフトの基本的な使い方を理解し、活用することができる。
2、3	コンピュータの活用 ・プログラムに関する計測・制御 ・情報に関する技術の評価・活用	・フローチャートの書き方を理解し、スクラッチを用いて、簡単なプログラミングをすることができる。  ・制御と自分との関わりを考え、どのように行動していくかを発表することができる。  ・これまで学習したソフトウェアを活用して、デジタル作品を作成する。

## 1 学習のねらい

自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。また、幼児との交流を通して、ふれあいの楽しさを知るとともに、幼児への理解や関心を高める。今までの自分を振り返り、生命の尊さと人との関わり的重要性を実践し、理解を深める。  
消費生活について考える。

## 2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:技術・家庭 家庭分野(東京書籍) 補助教材:新技術・家庭総合資料(正進社)	持ち物	教科書、ファイル、資料集、色鉛筆
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。</li> <li>・授業中は先生の話を中心して聴き、わからないところは友達や先生に質問しよう。</li> <li>・保育実習は積極的に話しかけ、幼児とかかわろう。</li> <li>・配付プリントや定期テストはきちんとファイルに綴じよう。</li> <li>・提出物の提出期限を守ろう。</li> </ul>	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストで間違えた問題はそのままにせず、復習しておこう。</li> <li>・家事仕事の手伝いを積極的に取り組もう。</li> <li>・学習したことを家で実践してみよう。</li> </ul>	

## 3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
①生活や家庭への関心・意欲・態度	生活や家庭、消費生活について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	学習活動への参加の仕方や態度 ファイルやノートの作成状況 定期テストやプリント
②生活を工夫し創造する能力	生活や消費生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分の家族生活をよりよくする為に工夫し、想像する。	授業での発言や取り組み内容 ファイルやノートの作成状況 定期テストやプリント
③生活の技能	生活の自立や消費生活に必要な基礎的な技術を身につけている。家庭の中の自分の役割をまとめることができる。	課題の取り組み状況 実習中の行動観察 実習記録への記入状況 自己評価
④生活や家庭についての知識・理解	生活や家庭、消費生活に関する基礎的な事項や生活と家庭とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	授業での発言や取り組み内容 定期テストや小テスト

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1 6月	自分の成長のあしあと  幼児の成長  幼児の生活と遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長を振り返り、家族や家庭生活について考えることができる。</li> <li>・自分の成長は家族やまわりの人々に支えられてきたことに気付くことができる。</li> <li>・幼児の心身の発達の特徴を理解し、関心を持つことができる。</li> <li>・子どもが育つ環境の改善について考えることができる。</li> <li>・基本的、社会的な生活習慣の内容を理解できる。</li> <li>・幼児の遊びについて関心を持ち、幼児にとっての遊びの意義、遊び道具の役割が理解できる。</li> <li>・対象年齢にあった遊びを考えることができる。</li> </ul>
2 8月	幼児との交流  保育学習のまとめ  自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり  私の家族・家庭と地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育園で幼児とのかかわることができる。</li> <li>・課題を持って幼児とふれあうことができる。</li> <li>・幼児とのかかわり方を自分なりに工夫し、一緒に遊ぶことができる。</li> <li>・幼児との交流体験から得たことをまとめ、発表することができる。</li> <li>・園への礼状を書くことができる。</li> <li>・幼児を支える家族、地域の人、社会の役割を理解できる。</li> <li>・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて、関心を持つことができる。</li> <li>・家庭や家族の基本的な機能を理解し、家族関係をよりよくすることを考えることができる。</li> <li>・家庭は家族が支えていることを理解し、家庭の変化に応じ、自分の役割をまとめることができる。</li> <li>・家庭生活が地域の人々のつながりの中で成り立っていることを理解できる。</li> </ul>
3 1月	消費生活 商品の選択と購入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売方法や支払い方法の利点と問題点の具体的な事例を見て、理解できる。</li> <li>・商品購入の失敗例から課題を見つけ、その解決方法を考えることができる。</li> <li>・消費者を守る仕組みを理解できる。</li> </ul>

1 学習のねらい

英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

【確かな学力】【豊かな心】【地球市民としての資質を備えた人間】の育成

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書: NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3 (三省堂)		持ち物	教科書
	補助教材: 英語ニュー・スタディノート(教育同人社) 英語のセクションスタディ(学宝社) 聞きたレ64(浜島書店)			ファイル(ピンク) 英語ニュー・スタディノート 英語のセクションスタディ
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。</li> <li>・基本文をよく理解し、覚えて使えるようにしよう。</li> <li>・先生やCDの英語をよく聴いて、正しい発音で言えるようにしよう。</li> <li>・間違ふことを恐れないで、たくさん英語で話したり書いたりしよう。</li> </ul>		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習として本文を音読し、暗唱しよう。</li> <li>・単語は意味や用法を理解し、文章で使えるようにしよう。</li> <li>・ワークの問題で復習をしよう。間違えたところを繰り返し復習しよう。</li> </ul>		

3 評価について

	評価観点	評価の場面・方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加している。 他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。 学習を通して、自分の英語力に向き合い、深い学びにつなげている。	授業のコミュニケーション活動への参加 授業時の準備と授業中の態度 提出物の状況 YEF(外国人英語指導員)との活動 ベーシック(英単語) 学びのパスポート
②外国語表現の能力	基本文法や単語などを用いて、自分の考え等を話したり書いたりすることができる。	課題での自己表現 定期テストの表現に関する問題 YEFとの英会話テスト
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど、相手が伝えようとする内容を理解することができる。 物語などの文章を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。	定期テストの理解に関する問題 リスニングテスト 本文暗唱テスト 授業中の理解度
④言語・文化についての知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけている。 背景にある文化などを理解している。	定期テストの言語や文化に関する問題 単語テスト 調べ学習

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	<p>・Lesson 8 India, My Country 【ことば】</p> <p>・Let's Read 2 Landmines and Aki Ra 【人間・社会】 (昨年度末未履修)</p> <p>Lesson 1 My Favorite Words 【ことば】</p> <p>Lesson 2 France — Then and Now 【異文化】</p> <p>Lesson 3 Rakugo Goes Overseas 【伝統文化】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身形を理解し、使うことができる。</li> <li>・インドについて関心を持つことができる。</li>   <li>・平和への社会貢献をしている人の自伝を読むことができる。</li>   <li>・ことばの持つ力について考えることができる。</li> <li>・受け身形を理解し、ものごとを客観的に伝えることができる。</li>   <li>・外国と日本の文化交流について知り、日本に定着した外国文化について考えることができる。</li> <li>・現在完了形(継続用法)を理解し、過去のある時点から現在まで続く状態について表現できる。</li>   <li>・日本の伝統文化およびそれを世界に発信することに関心を高めることができる。</li> <li>・現在完了形(完了用法・経験用法)を理解し、すでに終わっていることやこれまでの経験について表現できる。</li> </ul>
2	<p>Lesson 4 The Story of Sadako 【人間・社会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核兵器と平和の問題について考えることができる。</li> <li>・make + A + B の形を理解し、気持ちや状態の変化について表現できる。</li> <li>・物語を読んで、登場人物の気持ちについて考えることができる。</li> </ul>

	<p>Let's Read 1 Dolphin Tale 【自然科学・共生】</p> <p>Lesson 5 Places to Go, Things to Do 【異文化】</p> <p>Lesson 6 I Have a Dream 【人間・社会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間と動物の共生について知る。</li> <li>・登場人物の気持ちについて考える。</li>   <li>・世界のさまざまな国・地域とその文化について関心を高めることができる。</li> <li>・関係代名詞(主格・目的格)を理解し、情報を加えて人やものについて説明できる。</li>   <li>・アメリカの公民権運動について知り、人権の大切さを考えることができる。</li> <li>・後置修飾の形を理解し、名詞にくわしい情報を加えて説明できる。</li> </ul>
<p><b>3</b></p>	<p>Lesson 7 English for Me 【ことば／学び】</p> <p>Let's Read 2 We Can Change Our World 【学び】</p> <p>Let's Read 3 The Story of Nishikori Kei 【人間・社会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語と自分との関わりについて考えることができる。</li> <li>・want + A + to ~の形を理解し、「人に何かをしてもらいたい」と伝えることができる。</li>   <li>・マラウイの少年の人物伝を読み、一人ひとりができる社会貢献について考えることができる。</li>   <li>・錦織圭選手のエッセーを読み、自分の生き方について考えることができる。</li> </ul>

1 学習のねらい

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	とびだそう未来へ中学道徳3(教育出版)		持ち物	教科書、ファイル 「道徳の授業を振り返って」(自己評価プリント)
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他人事」ではなく「自分事」として考えよう。</li> <li>・物事を広い視野から多面的・多角的にとらえよう。</li> <li>・「考え、議論する」授業をめざして、コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加し、友だちの意見に耳を傾け、意見を交換し、考えを広げたり、深めたりしよう。</li> </ul>		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいる地域に関心を持ち、家庭や地域の人々と話をしたり、積極的に関わったりしていこう。</li> <li>・社会のニュースに関心を持ち、現代的な課題を自分との関係において考え、解決にむけて取り組めることからやっていこう。</li> </ul>		

3 評価について

道徳科の評価については、「特別の教科」の位置づけに見られるように、他教科のような**観点別評価は妥当ではない**と学習指導要領で示されている。そこで、以下の視点に考慮して、子どもたちの成長に関して記述評価することとする。

評価の視点	評価の場面・方法
毎時間の学習の様子かどうか。 (主に生徒の学習状況をとらえた評価)	① ノート や ワークシート ② 子どもの発言などの記録 (例えば板書の写し撮り・座席表など) ③ パフォーマンス ④ 子どもの自己評価 ⑤ 他の観察者の評価
自分事としてとらえたか。 (主に自分との関わりでの価値の深まりに関する評価)	
考えが深まったか。 (主に多面的・多角的な見方への発展をとらえた評価)	
変化がみられたか。 (主に道徳性にかかる成長の様子をとらえた評価)	

#### 4 学習計画について

学期	学習計画	つきたい力
1	<p>1 父のひと言 A【自主, 自律, 自由と責任】</p> <p>2 僕は友達を裏切ったのか? B【友情, 信頼】</p> <p>3 歩きスマホをどうするか A【節度, 節制】</p> <p>4 平和への願い C【国際理解, 国際貢献】</p> <p>5 二通の手紙 C【遵法精神, 公德心】</p> <p>6 ハゲワシと少女 D【生命の尊さ】</p> <p>7 あなたは顔で差別をしますか B【相互理解, 寛容】</p> <p>8 昇き縄 C【郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】</p> <p>9 無限の道 A【真理の探究, 創造】</p> <p>10 変わりゆく地球 D【自然愛護】</p>	<p>父が「私」に発した言葉の意味を考えるを通して、責任をもつことの大切さを自覚し、自分の関わる責任を全うしようとする態度を育てる。</p> <p>個性の相違を超えた友情の尊さについて考え、よりよい友情を培っていかうとする態度を育てる。</p> <p>スマホとのつき合い方を考えることにより、節度を守り、節制を心がけようとする心情を育てる。</p> <p>参戦国相互の人々の立場から考え議論することを通して、平和と共存を実現していくために多様な他者と主体的に関わっていかうとする態度を育てる。</p> <p>規律ある安定した社会の実現を目ざし、きまりや法の意義について深く考え、主体的に守ろうとする態度を育てる。</p> <p>写真が語る事実より、かけがえない生命を尊重しようとする心情を育てる。</p> <p>藤井さんの体験について考えるを通して、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容な心をもって相互に理解し、謙虚に他に学び、自らを高めていかうとする態度を育てる。</p> <p>郷土の伝統や地域社会の一員としての自覚の大切さに気づき、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。</p> <p>自らの信念や生き方について考え、真理を探究していかうとする態度を育てる。</p> <p>私たちの暮らす地球の姿を知り、自然を愛護し、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めようとする態度を育てる。</p>
2	<p>11 鳩が飛び立つ日～石井筆子～ C【社会参画, 公共の精神】</p> <p>12 ニワトリ D【生命の尊さ】</p> <p>13 フットライト B【友情, 信頼】</p> <p>14 外国から見た日本人 C【我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】</p> <p>15 卒業文集最後の二行 C【公正, 公平, 社会正義】</p>	<p>自分の行動が、世の中を変える活動の一端を担うことを意識し、積極的に社会に貢献しようとする態度を育てる。</p> <p>人間以外の生命あるものに、生命の尊さを感じようとする心情を養う。</p> <p>恋愛の感情も含め、個性の相違を超えて相手のことを大切に思うことの尊さについて考え、よりよい人間関係や友情を培っていかうとする態度を育てる。</p> <p>日本人としての自覚をもって、生きていかうとする実践意欲を育てる。</p> <p>いじめの加害者が抱える自責の念や、被害者の気持ちについて考えるを通して、差別や偏見のない社会を実現していかうとする態度を育てる。</p>

	<p>16 サルも人も愛した写真家 D【自然愛護】</p> <p>17 足袋の季節 B【思いやり, 感謝】</p> <p>18 ひび割れ壺 A【向上心, 個性の伸長】</p> <p>19 死刑制度を考える C【遵法精神, 公德心】</p> <p>20 校長先生の模擬面接 B【礼儀】</p> <p>21 カーテンの向こう D【よりよく生きる喜び】</p> <p>22 ふきのとう C【勤労】</p> <p>23 あふれる愛 C【国際理解, 国際貢献】</p>	<p>大自然のかけがえのなさに触れ, 自然と人, および自己との関わりにおける考えを深めることにより, 自然との関係や調和の中で生かされていることを自覚しようとする態度を育てる。</p> <p>多くの人々の善意により今の自分があることに気づき, 自らも他者と共感的に関わり, 思いやりの心をもって接していこうとする態度を育てる。</p> <p>自分の個性を生かして, 自分らしくよりよく生きるためには, どんなことが大切なのかを考え, 実践しようとする態度を育てる。</p> <p>法やきまりの意義を理解し, よりよいあり方について考え, 規律ある社会の実現に努めようとする心情を育てる。</p> <p>校長先生との模擬面接の場面から, 時と場に応じた適切な言動について考え, 形の根底に流れる礼儀の意義を深く理解し主体的に関わっていこうとする態度を育てる。</p> <p>人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて, 誇りある生き方をしようとする心情を育てる。</p> <p>勤労の尊さを理解し, 自らの生きがいのある人生を探究するとともに, 勤労を通して社会に奉仕する気持ちを深め, 進んで社会の発展向上に努めようとする実践意欲を育てる。</p> <p>国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与していこうとする態度を育てる。</p>
3	<p>24 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓 A【希望と勇気, 克己と強い意志】</p> <p>25 テーブルの卵焼き C【家族愛, 家庭生活の充実】</p> <p>26 家族の思いと意思表示カード D【生命の尊さ】</p> <p>27 憧れの消防団 C【社会参画, 公共の精神】</p> <p>28 償い D【よりよく生きる喜び】</p> <p>29 旅立ちの日に C【よりよい学校生活, 集団生活の充実】</p> <p>30 もう一つの時間 D【感動, 畏敬の念】</p>	<p>生涯をかけての目標や理想をもつことが, 日々の生活を充実させることにつながることに気づかせる。そして, 目標を実現するために希望と勇気をもって実行するとともに, 困難に屈せず粘り強くやり抜こうとする態度を育てる。</p> <p>自分の成長を願い, 無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母に対する敬愛の念を深め, 家族や家庭を大切にしようとする態度を育てる。</p> <p>かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。</p> <p>「僕」と消防団との交流から社会参画, 社会連帯, 公共の精神について考え, 話し合うことを通して, 学校や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする実践意欲を育てる。</p> <p>人間には, 弱さや醜さもあるが, それを克服し気高く生きようとする心があることを知り, 人間としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。</p> <p>中学校生活における最後の大切な行事である卒業式に臨む姿勢を考えさせることで, 自分たちの学校を改めて見つめ直すとともに, よりよい学校を作り上げる一員として自分ができることは何なのかを考えようとする態度を育てる。</p> <p>豊かな感受性を育ませるとともに, 自然のように人間の力を超えたものに対して, 美しさや神秘さを感じ, 自然の中で癒やされる自己に気づかせる。また, 美的な情操を深め, 感動する心を育てる。</p>